

2025年度 地域連携推進会議 議事録

実施日 2025年5月23日(金)

時間 13時30分～15時

1. 参加者自己紹介

ご利用者様 2名
利用者ご家族様
北部障がい者地域相談支援センター様
施設管理者
施設職員

2. 会議の目的についての確認

地域連携推進会議は、施設等と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体である。

- ・ 利用者と地域との関係づくり
- ・ 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ・ 施設等やサービスの透明性・質の確保
- ・ 利用者の権利擁護

* 会議を通して利用者と地域との関係づくりを目標としている。

3. 事業の概要説明

* 2024年度アマポーラ藤沢の事業報告。

- ① 人材の確保、収益
 - ・ 報酬改定が行われ、厳しい状況のなかでの運営となった。
- ② リスクマネジメント体制の強化
 - ・ ヒヤリハットを意識して報告を行えるようになった。
- ③ 権利擁護、虐待防止、身体拘束ゼロ
 - ・ 定期的に委員会で話し合いや勉強会を行った。職員のメンタルサポートも重要と考えている。
- ④ ワークライフバランス
 - ・ 職員同士で助け合ってそれぞれが希望する休みを取ることができ、リフレッシュすることでより良い支援を行うことができると考え計画に位置づけた。
- ⑤ その他「年間の行事報告」「ボランティア参加」「研修報告」「防災報告」「事故報告(ヒヤリハットは約170件)」「苦情報告」「利用者満足度調査の結果概要」「地域との関わり」についての報告を行った。

* 2025 年度事業計画書の説明。

- ・ 2025 年度の重点課題、重点目標、年間計画について説明。

4. 日常生活の様子について

- ・ 昨年度一人暮らしに向けてサテライトに移行した利用者さんがいる。
- ・ 開所から 16 年が経過し、利用者さんの年齢が上がるにつれ区分も上がってきている。
- ・ ご家族の高齢化や帰る家がなくなってしまったかたなどの理由からホームの週末利用が増えてきている。
- ・ 職員確保についてはインターネットを活用した求人媒体やハローワークを利用してはいるが、福祉業界全体が人手不足なのでほとんど応募がない状況。
- ・ 法人内部ではグループホームで働きたいと希望する職員がおらず異動での補充もままならない状況。
- ・ グループホームには介護包括支援型と日中支援型があり、包括型ホームは通所や一般就労など日中過ごす場所がある方が住んでいる。日中支援型のホームはこの 3~4 年で出来てきたホームだが、数としてはとても少ない。
- ・ アマポーラ藤沢では身体的な介助はほとんどなく自立をされているかたが多いのが特徴。

ホームの課題について

- ・ 完全同性介助が理想だが、現状では夜勤者が一人配置のため夜間の対応までは難しい。
- ・ 意思決定支援といわれていることから、ホームとして改善が必要だと思う利用者さんでも、利用者さん自身が改善したくないと言えばそれ以上の強要はできない。そのため共同生活に支障が出ることもある。
- ・ ひとりで外出できない利用者のために移動支援のサービスを利用したいが、休日や祭日は人がいないと断られてしまい利用することが困難。ホームでも職員が足りないことから外出等の付き添いはできず、利用者の週末の余暇の過ごし方に悩んでいる。
- ・ 共同生活に馴染まない利用者から他の利用者へのクレームが頻繁にある。

5. 質疑応答

- ・ ご家族様

人材不足については、人が入ってくれるのを願うばかり。親としては、自分がいなくなってしまうあとがとても心配。

- ・ 相談支援センター様

地域連携推進会議は年何回か？

- ・ 施設管理者

年一回以上となっている。

施設内の見学は特に必要ないとのことで、以上をもって終了となった。

